

令和7年10月28日

会員各位

沼田利根医師会長 林 秀彦

災害医療担当理事 七五三木 淳

(問合せ先) 利根中央病院 総合診療科/救急科 部長 鈴木 諭

在宅酸素領域機器（在宅酸素・在宅人工呼吸器）を使用している医療機関に関するアンケート

【アンケートの趣旨】

厚生労働省 DMAT 事務局では、毎年実施される大規模地震等医療活動訓練において、在宅酸素領域機器を（在宅酸素・在宅人工呼吸器）使用している災害時要配慮者に対する保健医療チームによる支援スキームの検証を進めています。

この検証を進めるにあたり、災害時における「個人情報保護」の課題が存在しています。つまり、酸素事業者等が保有する個人情報は、主治医との契約関係の中でのみ共有可能で、災害時においても事業者が利用者の安否確認を行うことは可能ですが、その結果は主治医以外には提供できない仕組みとなっています。このため、安否不明者や要支援者に関する情報が必要な組織・部署に迅速に共有されず、支援の遅延が懸念されています。

この課題を解決する方法として、在宅酸素領域機器導入時の契約・同意書類取得の際に、「災害時業者保有個人情報提供に関する同意」を新たに取得することが有効ではないかと考えられており、この同意書類は、災害時の情報混乱を防ぐためにも、各医療機関が個別に策定するのではなく、業者組合や国・自治体による統一書式で取得できることが望ましいと考えています。

現在、関係機関で検討を進めていますが、パイロット的に沼田利根医師会の会員の皆様の病院・診療所のご協力のもと、統一した同意書類の制定と、同意取得応諾割合の患者調査を実施させていただきたいと考えています。

在宅酸素領域機器（在宅酸素・在宅人工呼吸器）を使用している患者様を診察・診療しているか否かについて、別紙によりご回答をお願いいたします。

(別紙) アンケート回答

在宅酸素領域機器（在宅酸素・在宅人工呼吸器）を使用している医療機関に関するアンケート

医療機関名	在宅酸素領域機器を使用している患者を 診察している 診察していない いずれかに○印を付けて返信してください。
-------	---

※11 月 10 日までにご回答いただければ幸いです。

【回答先 FAX 23-3591 沼田利根医師会】